

Hi-Part

ハイパート外断熱EX工法

ハイパート外断熱工法の断熱材
スタイロフォーム™の性能が
大幅にUP!!

大幅に性能が向上

15%UP!

熱伝導率
0.028_{w/m·k} → 0.024_{w/m·k}

断熱材の厚さが

5mm~10mm
薄く!

優れた環境・安全性
JIS適合品

コストは…
従来通り

ハイパート外断熱EX工法とは…

ハイパート外断熱EX工法は、繊維強化セメント板「ハイパートN」と断熱材「スタイロフォームEX」を、新築及び既存の(改修工事)RC建物の外側に設置する工法です。一般的な外断熱に比べ、ボード主体のシステム構成によりローコストを可能にし、さらに薄型・軽量のため、工事の簡素化、建築物軽量化をもたらします。従来のタイル張り工法に加え、塗材仕上げによる大壁がラインナップされ、多彩な壁面の構成が可能になります。



塗材仕上げ品



タイル張り仕上げ品



◆スタイロフォームEXの物性表 (SI)

JIS規格		JIS A 9511: 2006R A種押出法ポリスチレンフォーム保温板		試験法
種類・記号		3種b-A-XPS-B-3b	3種b-A-XPS-B-3b	
主な用途		一般建築用	高性能住宅用 冷凍・冷蔵・低温施設用	
形態		カット	カット	
項目	単位	従来品 押出法ポリスチレンフォーム3種b	新製品 スタイロフォームEX	
熱伝導率 (23℃)	W/m·K	0.028以下	0.024以下	JIS A 9511
(0℃)	W/m·K	0.026以下	0.022以下	JIS A 9511
(-40℃)	W/m·K	0.023以下	0.019以下	JIS A 9511
圧縮強さ	N/cm ²	20以上	20以上	JIS A 9511
曲げ強さ	N/cm ²	25以上	25以上	JIS A 9511
燃焼性	3秒以内に炎が消えて 残じんが残らないこと	合格	合格	JIS A 9511
透湿係数(厚み25mm)	ng/m ² ·s·Pa (g/m ² ·h·mmHg)	145以下(0.07以下)	145以下(0.07以下)	JIS A 9511
吸水量	g/100cm ²	0.01以下	0.01以下	JIS A 9511
線膨張係数	K ⁻¹	7×10 ⁻⁵	7×10 ⁻⁵	ASTM D 696
加熱変形温度	℃	80	80	Dow法
比熱	KJ/kg·K	1.1	1.1	ASTM C 351
酸素指数	—	26以上	26以上	JIS K 7201

※物性値は、JIS、ASTMあるいはDow法にもとづいた標準値です。※透湿係数は25mm厚で算出しています。 ※酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取り扱いにより指定可燃物となります。※スタイロフォームは全製品グリーン購入法適合品です。

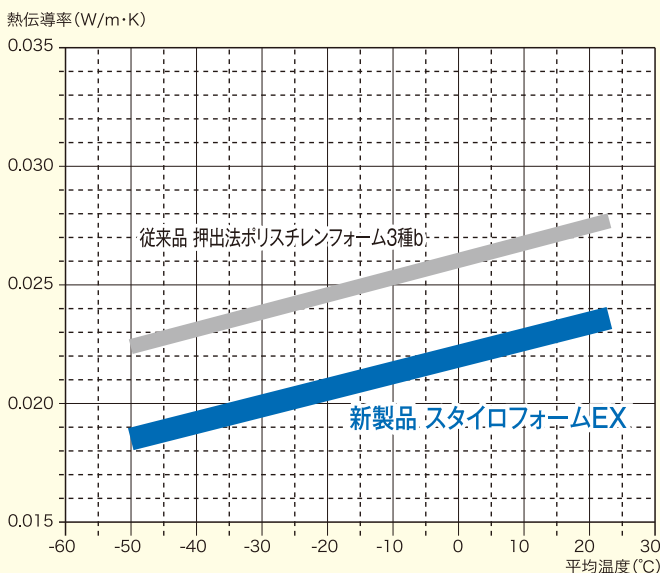
◆住宅の省エネルギー基準(平成11年基準)*1に基づく断熱材必要厚さ 鉄筋コンクリート造等の住宅(外断熱工法:壁)

地域	熱抵抗 (m ² ·K/W)	必要厚さ(mm)	
		従来品 押出法ポリスチレンフォーム3種b	新製品 スタイロフォームEX
I	1.8	55	45
II	1.5	45	40
III, IV, V	0.9	30	25

*1次世代省エネルギー基準(日本住宅性能表示制度:省エネ対策等級4)

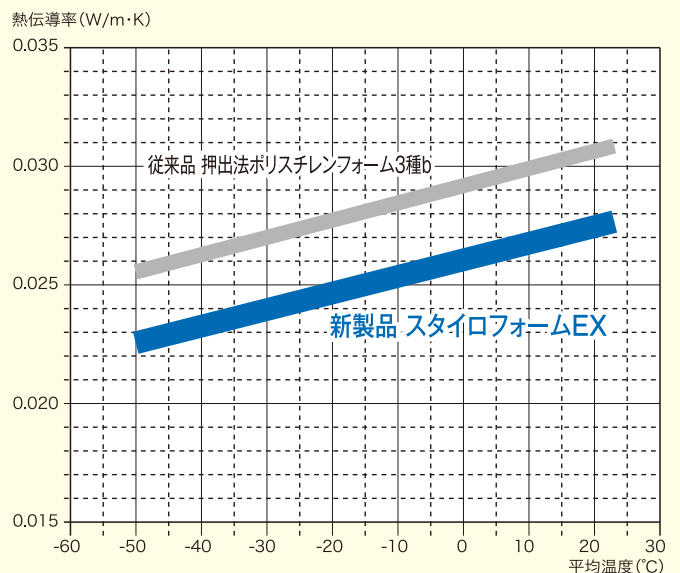


熱伝導率(JIS A 9511準拠)*2



*2及び*3: 日本保温保冷工業協会 保温JIS解説(2006年版) 熱伝導率算出参考式に準拠

熱伝導率(25年後の予測値)*3



*3: ダウ化工(株)測定データに基づき日本保温保冷工業協会 保温JIS解説(2006年版) 熱伝導率算出参考式にて算出



札幌支店 ☎011-261-8291 名古屋支店 ☎052-541-5700 広島支店 ☎082-245-3257
 仙台支店 ☎022-225-7986 北陸営業所 ☎076-260-1135 松山営業所 ☎089-933-5828
 東京支店 ☎03-5540-6711 関西支店 ☎078-391-1651 九州支店 ☎092-474-0868
 本 社 ☎078-333-4111

ノザワホームページアドレス <http://www.nozawa-kobe.co.jp>